

歳出予算事業概要書

款	10 教育費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	5502000000																
項	01 教育総務費							所属課名	学校教育課																
目	02 事務局費	0	0	8,970	0	0	0	内線番号																	
大	038 特別支援教育担当指導主事配置事業							実施 計 画	部		実施計画計上額														
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章																
小	00			0	0	0	0		節																
細	0			0	0	0	0		節																
1. 事業の概要と必要性								本年度の財源内訳																	
1 概要 本市の特別支援教育は、現在嘱託職員1名が行っているが、就学指導上の課題は年々増加しており、恒常的に業務過多となっている。 については、学校現場あるいは県教育委員会事務局職員から教員等を割愛し、指導主事として市教育委員会事務局に1名を追加配置要求する。								節		区分		金額		財源		款		項目		節		金額			
2 必要性 学校現場における特別教育の必要性及び就学指導の現状と、今後、対応課題の増加が見込まれることから、専門的知識を有し学校教育経験のある職員増員が必要である。 また、幼児の定期健康診断時における就学や障害の相談への新たな対応等の市民要望の増加について、教育行政として対応していく必要がある。								2 給料				0													
2. 根拠法令																									
3. 用地の状況																									
4. 基本計画との関連																									
5. 本年度の計画効果																									
1 本年度の計画 学校現場あるいは県教育委員会事務局職員から教員等を割愛し、指導主事としてとして市教育委員会事務局に1名を追加配置する。																									
2 効果 特別支援教育に対応していくために、学校に対する指導・支援や県教育委員会、総合医療センター等の関係諸機関との連携等強化が可能となる。 学校や保護者に対して適切な指導や助言、支援等が可能となり、子ども達の適正就学や教育環境の保障、相談体制の充実を図ることができる。 障害のある子どもとその保護者に対する支援の充実を図ることができ、米子市民の福祉の充実につなげることができる。 就学前の子ども達を対象とした就学指導も可能となり、米子市が進める子育て支援の一端を担うことができる。																									
6. 財源の説明																									
1 財源 すべて一般財源 人件費(諸手当含む)...約8,970千円 4歳と仮定し、要求額は全額給与で暫定入力																									
目的別 性質別																									